



うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第90号

発行日

2014年11月19日
(毎月19日刊行)

司書のオススメ本

～インテリアの本～

<企画展示コーナーから選んでみました>

テレビや雑誌などではもちろんのこと、香川でも、最近はおしゃれなお宅が増えてきました。今回の企画展示の本もよく貸し出され、展示コーナーの本が数冊しかない時もあり、「こんなに素敵な部屋への興味関心が高いのだから、おしゃれハウスが増えるはずだ」と妙に納得しました。

わが家は、片づけや掃除が十分ではないので、インテリアにまで気を遣う余裕はないのですが、素敵なインテリアの本は、見るだけでも心の栄養になります。本来は、行動が伴うべきなのでしょうが・・・。

そこで今回は、素敵なインテリアの本を紹介します。(T)

<おすすめbook>

『センスがいいとほめられるインテリアのルール』
成美堂出版編集部／編・刊

『赤ちゃんがいる家の収納&インテリア』
主婦の友社／刊

『日曜日の風景』
VERY編集部／編 光文社／刊



新しい本が
入りました。

() 内の数字は
棚の番号です

『お医者さんは教えて
くれない妊娠・出産の
常識ウソ・ホント』

エミリー・オス
ター／著

東洋経済新報社／刊

2014.9

(支援1-2)

『小・中学生のための
勝てる! 強くな
る! スポーツ選手の
栄養満点ごはん』

河谷彰子／監修
日東書院本社／刊

2014.10

(支援2-2)

『子育ては「絵メ
モ」で伝えればうま
くいく!』

井上きみどり／著

2014.9

(支援3-2)

『写真でわかるはじ
めての小学校生活』

笹森洋樹／編著

2014.9

(支援4-3)

子どもと一緒に星に願いを

わが家の朝は、ラジオをつけることから始まります。冬のある朝、ご飯を食べていると、ラジオから「今夜、しし座流星群で流星雨が見られるかもしれません」という声が聞こえてきました。「流星雨ってなんやろね。流れ星のことかな。見てみる?」「うん、見る」今日は休みの前日だから夜中でも大丈夫。冬は空気が澄んでいるから観察に最適!でも、しし座流星群がどこにあるのかわかりません。「ふしぎがわかるしぜん図鑑 うちゅう せいざ」で子どもと一緒に、主な星座や流れ星が飛び出す位置を調べました。

夜中、重ね着をして、懐中電灯、コンパスと星座早見盤、温かい飲み物を入れた水筒、敷物を持ち、街灯が少なく、車が来ない近くの公園に出かけました。まずは、コンパスで方角を、次に、星座早見盤で星の位置を確認し、市街地や月の見えない方向を向き、敷物にねころんで見上げました。真っ暗な空に無数の星が瞬きます。子どもたちも静かに空を見ます。寝たんちゃうんと思っていると「あ、流れた!」「また、流れた!!」たくさんの流れ星を見ることができました。中には、長く尾を引き、夜空が昼のように明るくなるものもありました。

長い時間流れていた星に、「願いを3回唱えること」は意外に難しくできなかったのですが、毎日慌ただしく過ごす中で、ほっとしたひとときでした。日食、月食 et c. ニュースで話題になる度に、この本で確認し、観察しました。

さて、12月14日(日)日没後から、東に開けた場所で、ふたご座流星群が見られます。国立天文台によると、今回のピークは9時ごろで、1時間に80個流れると予想されています。晴れたらいいですね。流れ星に願いを3回唱えられたら、願いがかなうかも?!(J)

※必ず車がこない場所で観察しましょう。子どもから絶対に目を離さないくださいね。



『うちゅう せいざ』
水野丈夫, 村山定男
/監修
(フレーベル館)



託児つき

阿刀田高講演会のお知らせ

平成27年1月18日(日)、アルファあなぶき大ホールにおいて、阿刀田高講演会「読書はおいしいぞ」を開催します。託児サービスもありますので(要事前申込)、就学前のお子さまがいらっしゃるご家庭の方でも、安心してご参加いただくことができます。

詳細は、香川県立図書館HPまたは館内で配布しているチラシをご覧ください。

*この講演会は「かがわ子どもの読書ネットワークフォーラム」の一環として実施します。



編集後記 子どもが逆上がりできるようになりました。運動神経は良くない方だと思っていたので、びっくりするやら嬉しいやら。保育所の先生によれば、毎日、逆上がりができるお友だちと特訓していたとのこと。友だちの力ってすごいですね。(T)